

i2i アクセス解析用のプラグインを作ってみましょう。

参考となる、プラグインをダウンロード

プラグイン名を変更する

- ・ 参考となるプラグインをダウンロード
- ・ フォルダ名を変更
- ・ rm のファイル名を変更
- ・ Install の内容を変更
- ・ rm の内容を変更
- ・ ファイルをアップロード
- ・ プラグインを有効にする
- ・ Wiki で記述し、動作を確認

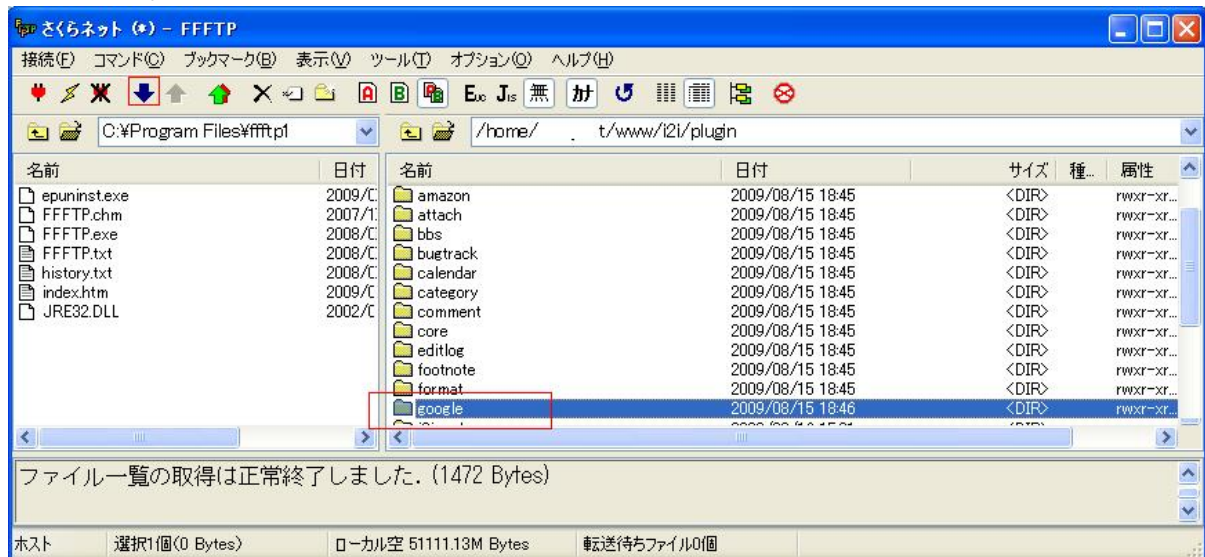
参考とするプラグインをダウンロードします。

Google を参考とします。

プラグインの場所は

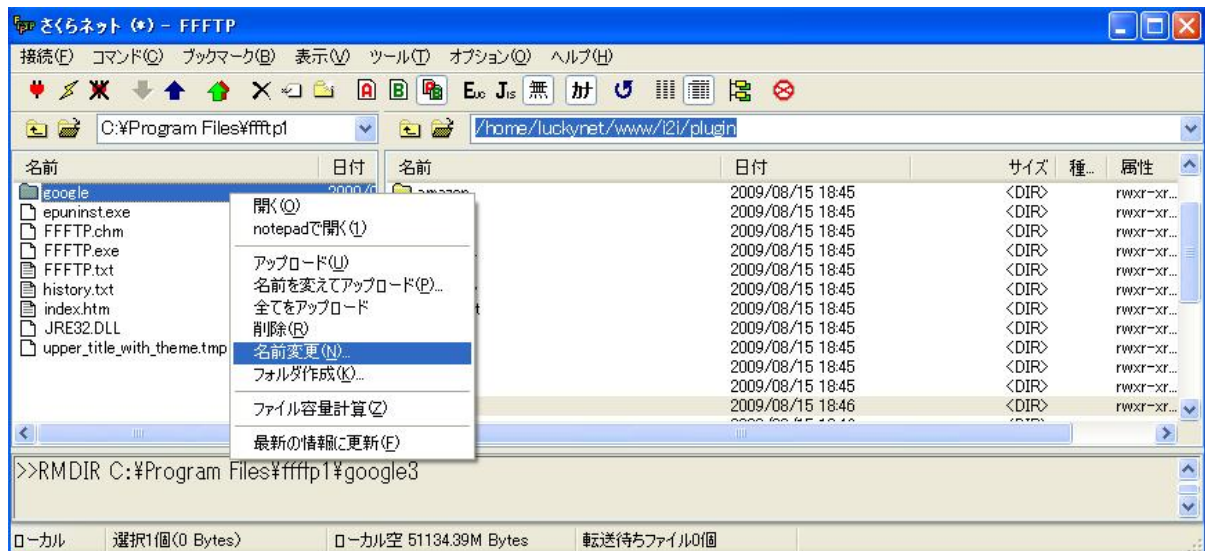
サイト Top?/plugin/google

となります。



ダウンロードしたフォルダ google の名前を変更します。

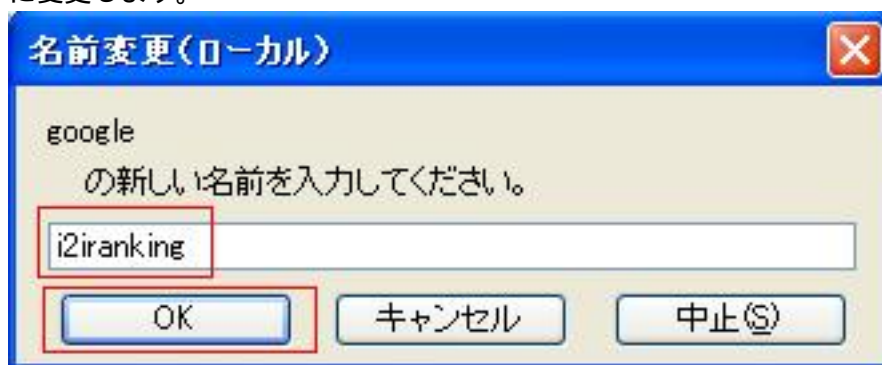
右クリックで名前の変更を選択してください。



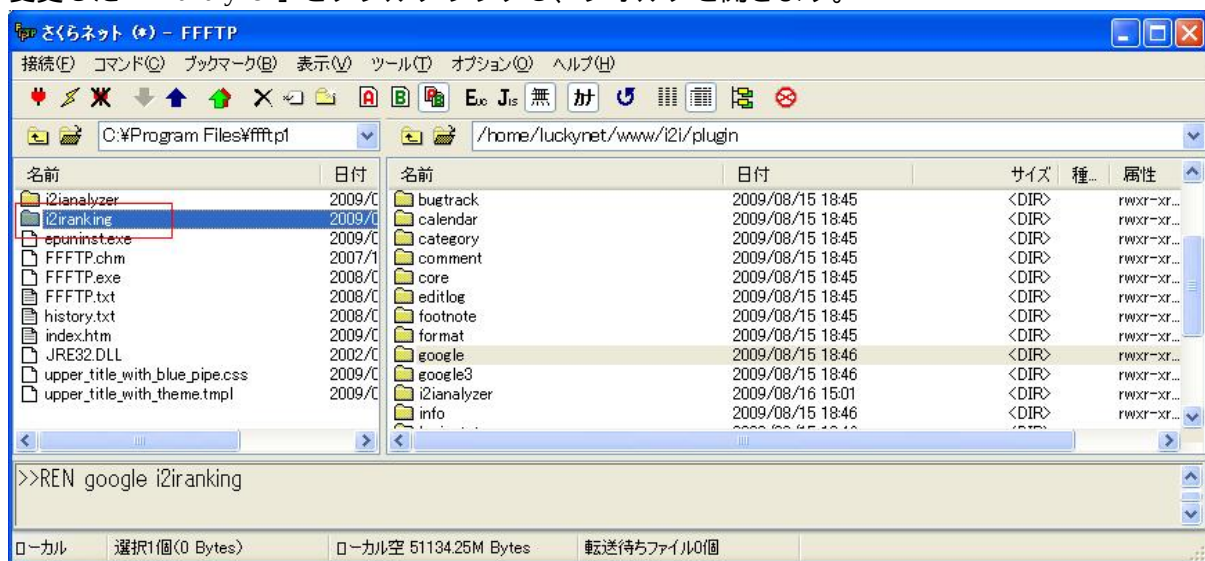
名前を

「i2ianalyzer」

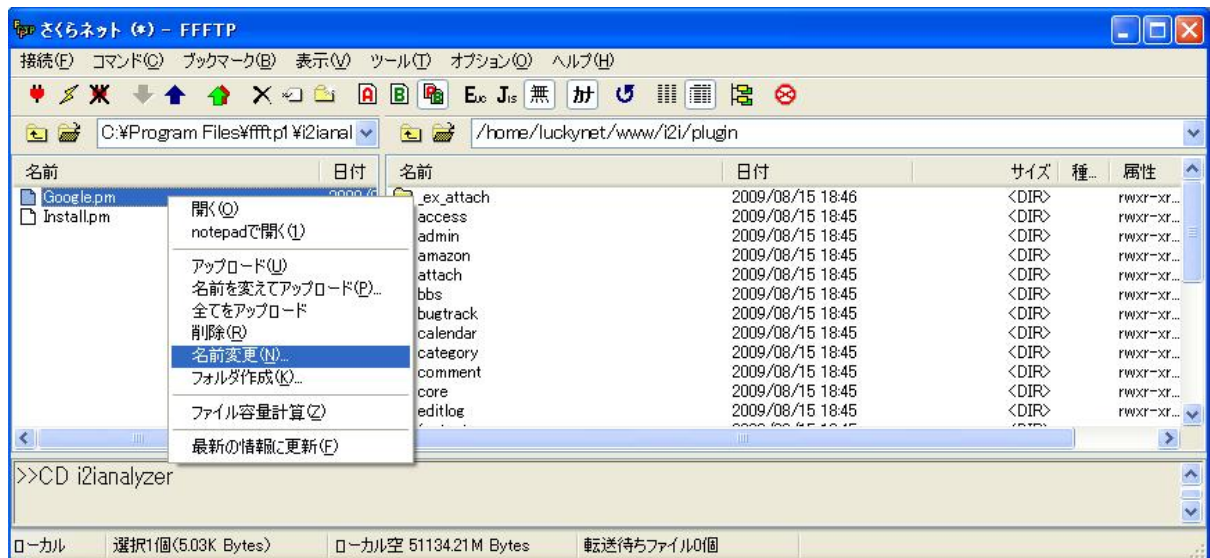
に変更します。



変更した「i2ianalyzer」をダブルクリックし、フォルダを開きます。



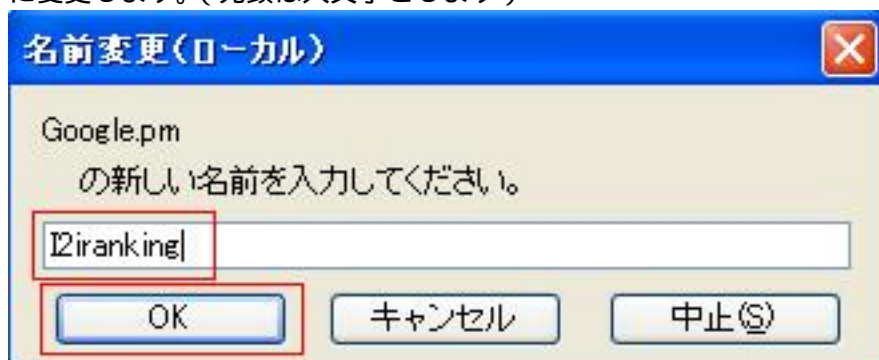
「Google.pm」を選び、名前を変更します。



名前を

「I2ianalyzer.pm」

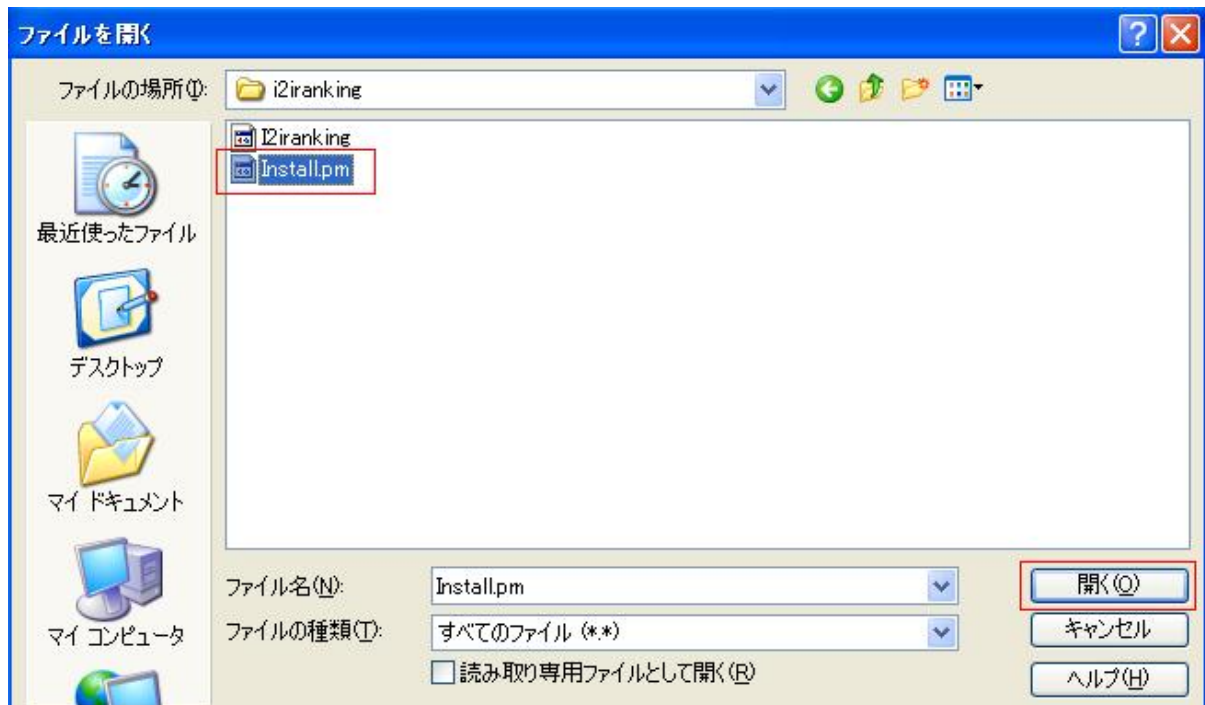
に変更します。(先頭は大文字とします)



Install.pm

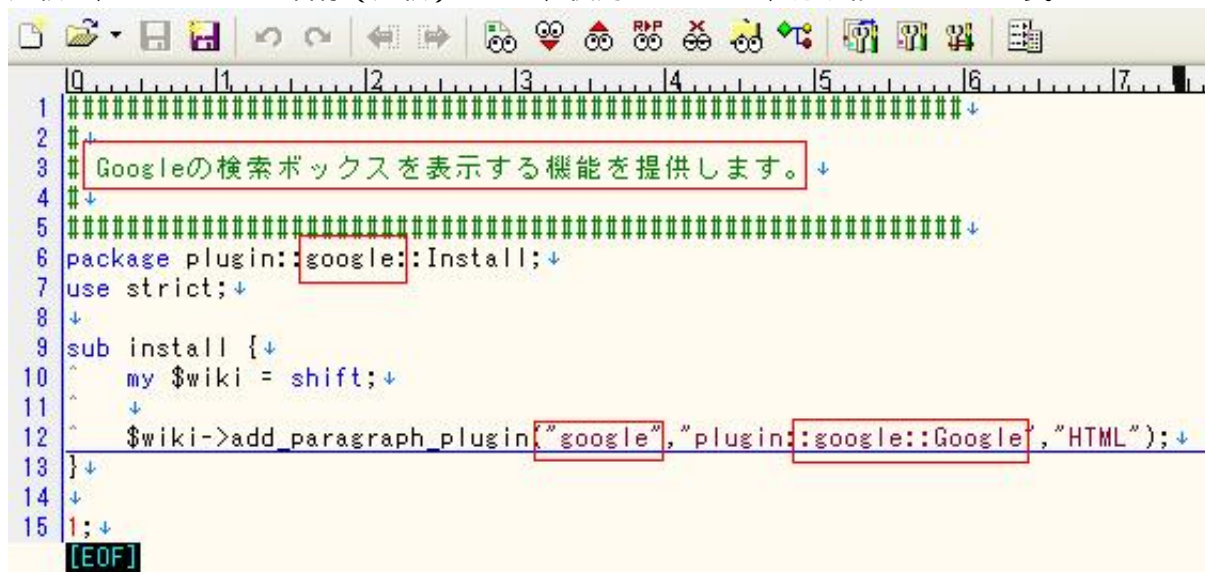
のなかの編集を行います。

サクラエディタなどで、ファイルを開きます。



注釈、内部の名称を変更します。

注釈は、プラグインの名称（注釈）として、使用されるので、必ず修正しましょう。



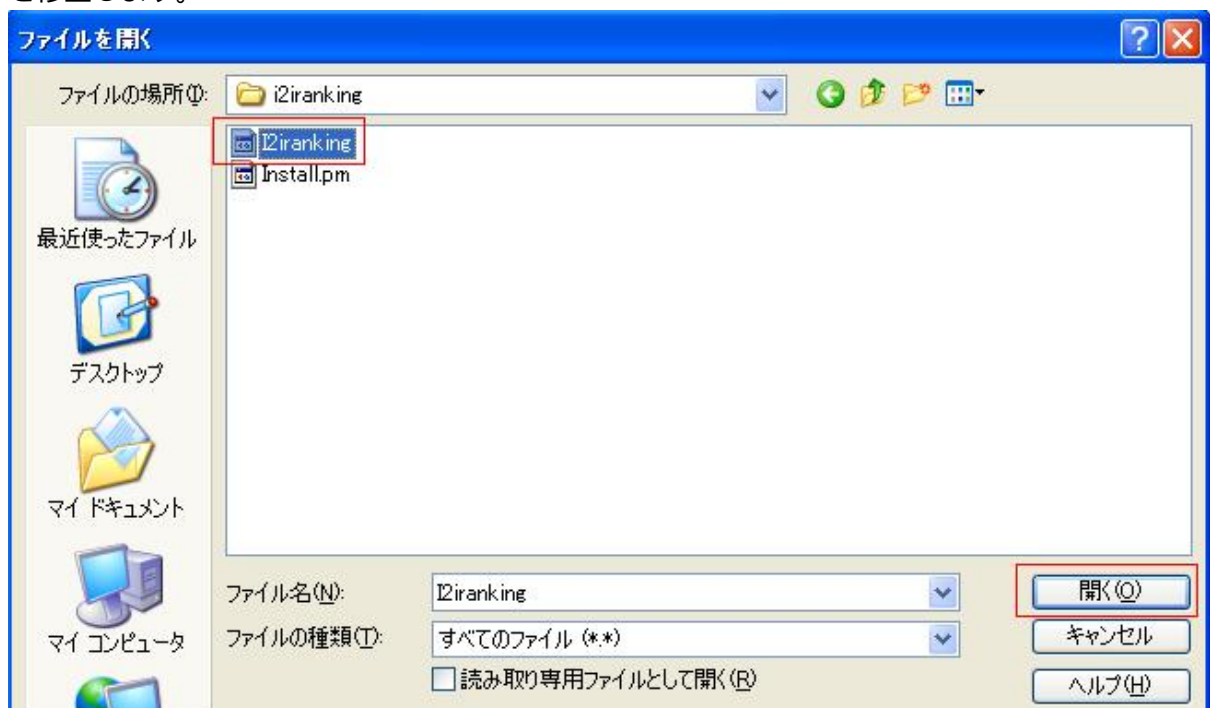
修正したら、格納します。

```
1 ##### ↓
2 ↓
3 i2iランキング表示を行います。 ↓
4 ↓
5 ##### ↓
6 package plugin::i2iranking::Install; ↓
7 use strict; ↓
8 ↓
9 sub install { ↓
10     my $wiki = shift; ↓
11     ↓
12     $wiki->add_paragraph_plugin("i2iranking", "plugin::i2iranking::I2iranking", "HTML"); ↓
13 } ↓
14 ↓
15 !; ↓
[EOF]
```

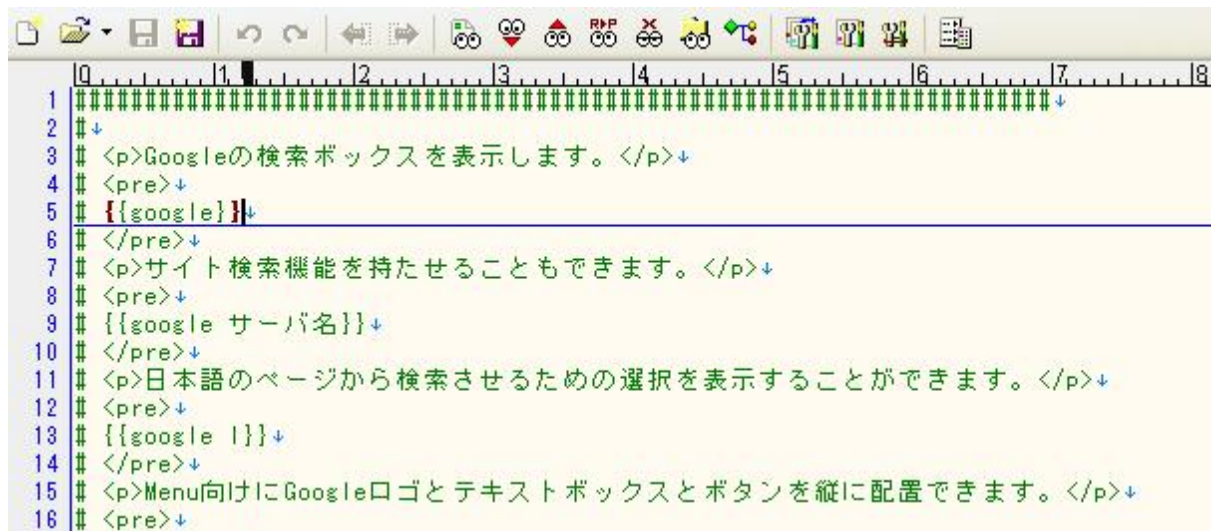
次に

「I2ianalyzer.pm」

を修正します。



ファイルを開いたら、



注釈の変更を行い

package の名称を変更し

```
package plugin::i2ianalyzer::I2ianalyzer;
```

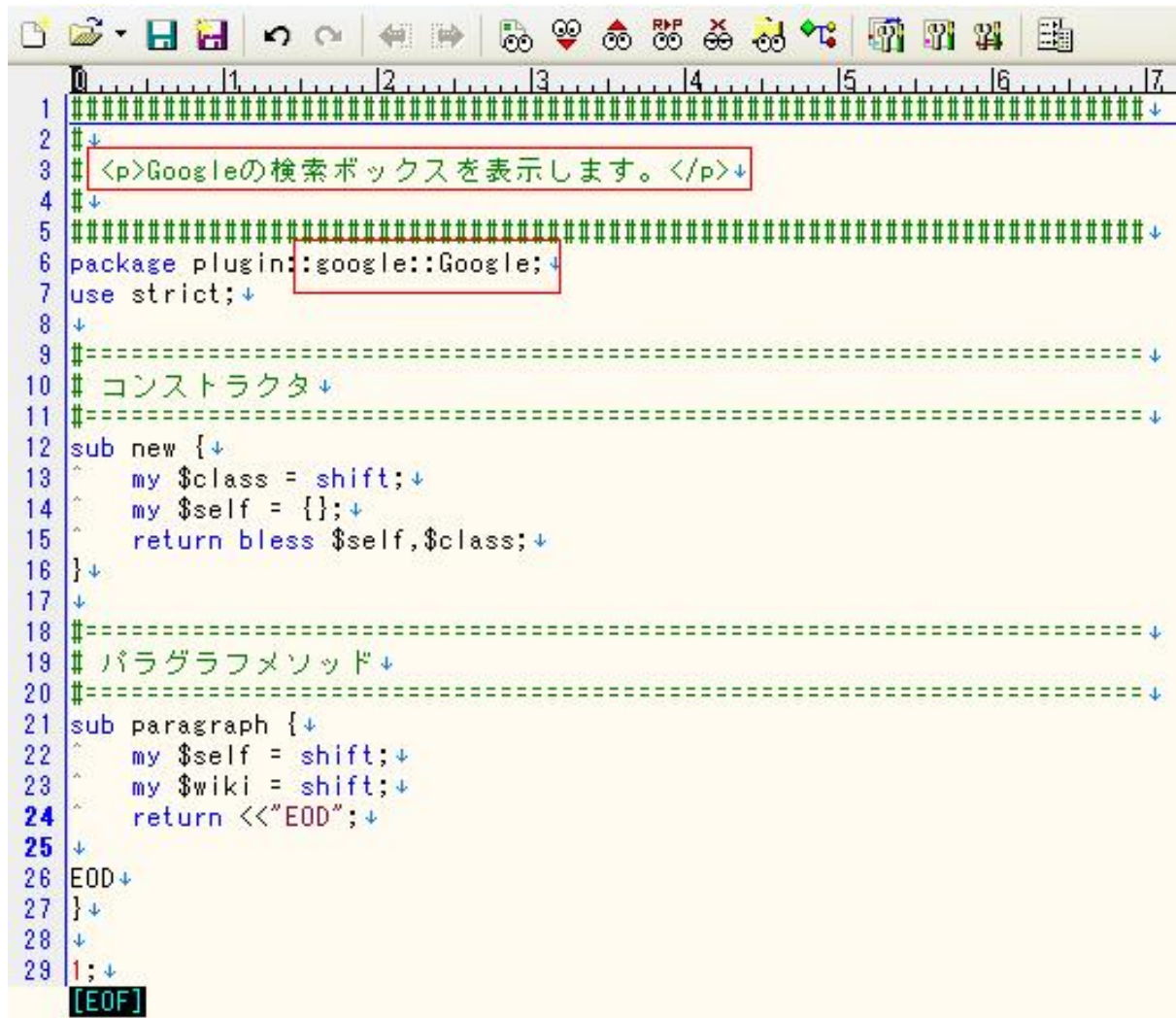
sub paragraph {

の部分、削除し、以下とします。

```

sub paragraph {
  my $self = shift;
  my $wiki = shift;
  return <<"EOD";
EOD
}

```



```
1 #####
2 #
3 <p>Googleの検索ボックスを表示します。</p>
4 #
5 #####
6 package plugin::google::Google;
7 use strict;
8
9 #####
10 # コンストラクタ
11 #####
12 sub new {
13     my $class = shift;
14     my $self = {};
15     return bless $self, $class;
16 }
17
18 #####
19 # パラグラフメソッド
20 #####
21 sub paragraph {
22     my $self = shift;
23     my $wiki = shift;
24     return <<"EOD";
25
26 EOD
27 }
28
29 1;
[EOF]
```

```
return <<"EOD";
EOD
```

の2行の間に、出力する、解析用のタグを埋め込みます。

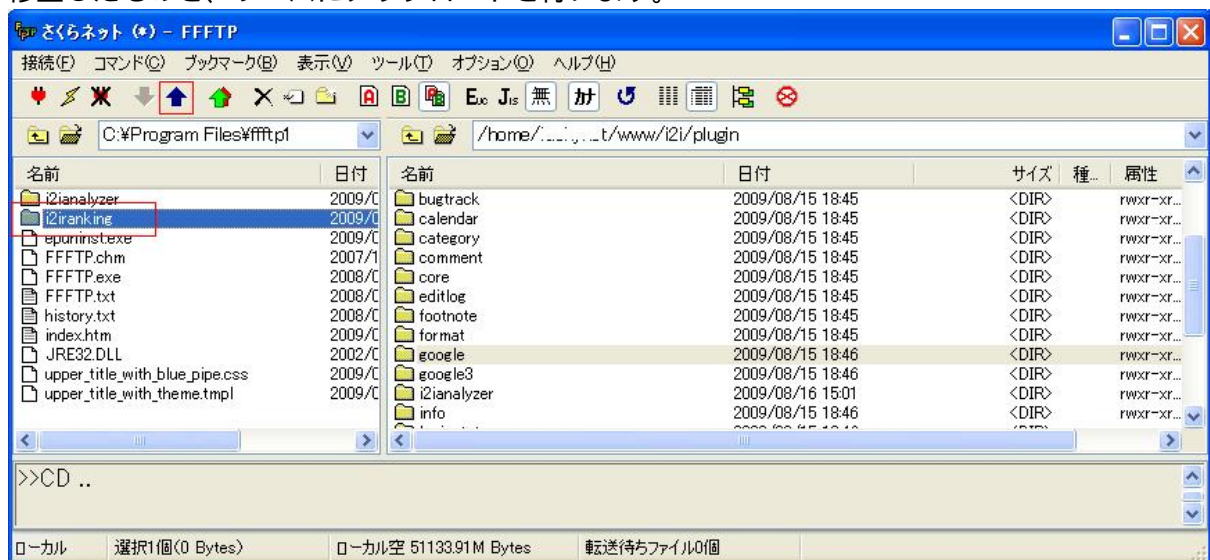
修正後保存します。

```

ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T) 設定(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
[Icons]
1 |0 |1 |2 |3 |4 |5 |6 |7
2 ↓
3 # <p>i2irankingを表示します。</p>↓
4 ↓
5 ===== ↓
6 package plugin::i2iranking::I2iranking;↓
7 use strict;↓
8 ↓
9 ===== ↓
10 # コンストラクタ↓
11 ===== ↓
12 sub new {↓
13 ^ my $class = shift;↓
14 ^ my $self = {};↓
15 ^ return bless $self,$class;↓
16 }↓
17 ↓
18 ===== ↓
19 # パラグラフメソッド↓
20 ===== ↓
21 sub paragraph {↓
22 ^ my $self = shift;↓
23 ^ my $wiki = shift;↓
24 ^ return <<"EOD";↓
25 <div id="i2i-1...acfd-wrap"><a href="http://fx.flash-1.net/"
26 <div><font size=1><a href="http://i2i.flash-1.net" target="_blank">i2i無
27 <script type="text/javascript" src="http://rc5.i2i.jp/view/index?004065
28 <noscript>パーツを表示するにはJavaScriptを有効にして下さい。[AD]<a href:
29 EOD↓
30 }↓
31 ↓

```

修正したものを、サーバにアップロードを行います。



サーバ側の設定を行い、動作の確認を行います。

右上にある「ログイン」より、管理画面に入ります。



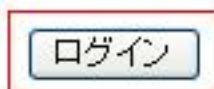
ID とパスワードを入力し

「ログイン」

します。

IDとパスワードを入力してください

ID	
Pass	

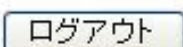


「プラグイン設定」

を選択します。

ログイン中

- **環境設定** - FSWiki全体の動作に関する設定を行います。
- **スタイル設定** - 見栄えに関する設定を行います。
- **ユーザ管理** - ユーザの追加、変更、削除を行います。
- **ページ管理** - ページの凍結、アクセス権限、一括削除を行います。
- **削除されたページ** - 削除されたページの確認と復元を行います。
- **プラグイン設定** - プラグインの有効化、無効化を行います。
- **ログ・キャッシュ** - ログファイル、キャッシュファイルのダウンロードを削除を行います。
- **スパム対策** - スパム対策用の設定を行います。
- **MIMEタイプ** - MIMEタイプの追加、削除を行います。
- **WikiFarmの設定** - WikiFarmの動作に関する設定を行います。
- **パスワードの変更** - 自分のパスワードを変更します。



真ん中に、追加したプラグインが表示されますので

チェックを入れ

「保存」

を選択します。

☐	format	FSWiki以外のWikiの文法で編集を行うためのプラグインです。
☒	google	Googleの検索ボックスを表示する機能を提供します。
☐	i2ranking	i2ランキング表示を行います。
☒	info	ページの更新日時、アウトラインなどの情報を表示するためのプラグインを提供します。
☐	loginstate	ログイン状態を表示するinlineプラグイン
☒	pdf	WikiページをPDFとして表示するためのプラグインを提供します。
☒	recent	更新日時順にページを一覧表示するためのインラインプラグインを提供します。
☐	rename	ページの名称を変更します。
☒	rss	RSSの生成機能を提供します。
☒	search	Wikiページの検索機能を提供します。
☒	todo	Wikiページ上でTODOの管理を行うためのプラグインを提供します。
☒	vote	簡易投票フォームの表示を行います。

保存

リセット

ページ編集モードで、追加したプラグインを記述します。Menuなどに設置しましょう。

```
!!!アクセス来歴
{{access 5,v}}
since 2006/9/9
!!!日別ベスト8
{{accessdays 8,2}}
{{i2ranking}}
```

☐ タイムスタンプを更新しない

保存

プレビュー

ランキングが表示されれば、成功です。

2009/8/18

- [FrontPage](#)(12)
- [アクセスランキング設置
用タグの取得](#)(11)

PR i2i			
アクセスランキング			
No	前回	リンク元	数
PR	周りの視線が気になる...ワキがかな？		
	i2i	ランキング参加	1
	i2i	ランキング参加	1
	i2i	ランキング参加	1
このRankingに参加する			
UPDATE 08/19 05:30 i2i.jp			